

『咽喉頭気管食道領域における腐食性障害に関する 全国実態調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

腐食性障害は、洗剤や漂白剤などに含まれる酸やアルカリ、その他の物質を誤飲または故意に内服することで生じる障害で、口の中や喉、食道や胃の中、気管や肺といった部位に炎症が生じます。またその炎症が原因で壊死や穿孔、狭窄などが起こり治療に難渋する場合があります。腐食性障害については、まだわかっていない点が多く、その実態は明確ではありません。

➤ 研究（調査）の方法

日本気管食道科学会の認定施設において、2014年1月1日～2023年12月31日に治療された咽喉頭気管食道領域における腐食性障害のデータをアンケート形式で集積します。このアンケートのデータを解析することで、疫学的特徴、病態、治療や予後について調査・解析します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定施設

➤ 調査期間

2024年●月●日～2026年12月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、咽喉頭気管食道領域における腐食性障害に対して治療を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力を同意されなくても、患者さんに不利になることはありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：佐伯浩司（群馬大学大学院総合外科学講座 消化管外科学分野）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp